



はじめに

- 施工要領書は手すり本体にセットされていますので、施工時には施工要領書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 曲がりエンド縦・横用は全体重をかけてのご使用はなさないでください。
そのような場合は曲り手すり端部用(Bも含む)をご使用ください。また、曲りエンド、曲り手すり端部用のねじは手すり本体のアルミ型材に確実に食い込むまで締めてください。

施工に必要な工具類

- 充電式ドリルドライバー+ビット
- 電気のかぎり
- ドリルドライバー用キリ
- 金のか
- スパナ
- メジャー
- カッターナイフ
- やすり(バリ取り用)
- 水準器

埋め込み式支柱の穴あけに

2430-4571

乾式ダイヤモンドコアドリルφ70



施工手順

支柱を設置する場合

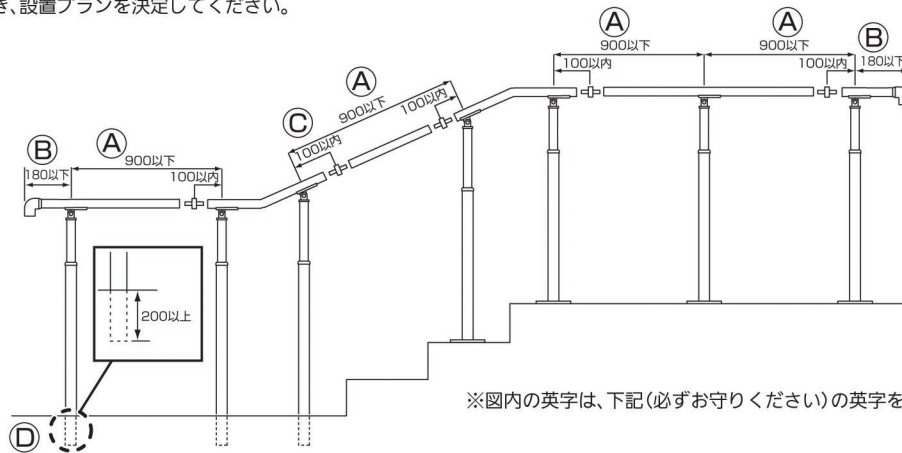


壁付きブラケットを設置する場合



1 プラニング(使用部材の割付と算出)

下記ルールにもとづき、設置プランを決定してください。



※図内の英字は、下記(必ずお守りください)の英字を表示しています。

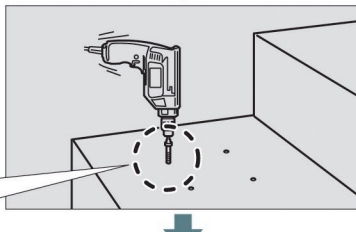
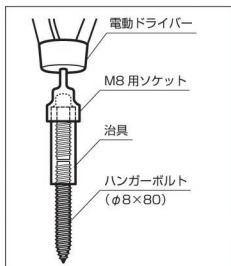
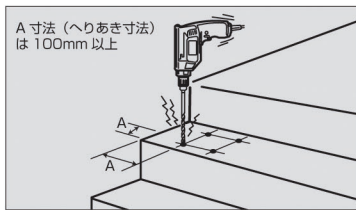
必ずお守りください

- ① 金具類および支柱の最大ピッチは900mm以下としてください。
- ② 手すり端部のはね出し長さは180mm以下としてください。
- ③ 手すりの接続部分より100mm以内の所に必ず金具類、もしくは支柱を取付けてください。
- ④ 埋め込みタイプの支柱については、埋め込み寸法を、必ず200mm以上としてください。

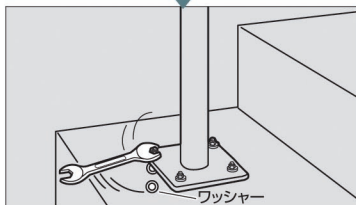
2 支柱の設置

ベースプレート式の場合

φ10mmのコンクリートドリルで深さ70mm以上の下穴をあけてください。
ハンマーを用いて下穴にナイロンプラグを挿入し、次にアンカー治具とM8用ソケットを使ってハンガーボルトをナイロンプラグに挿入してください。

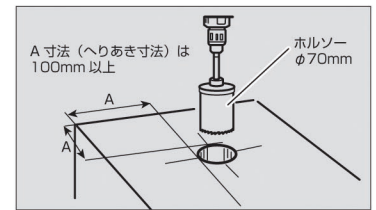


水準器を用いて支柱が水平・垂直になるように合わせ、サラバネ付六角ナットでベースプレートを固定してください。
※水平でない場合はスペーサーをかませて微調整してください。

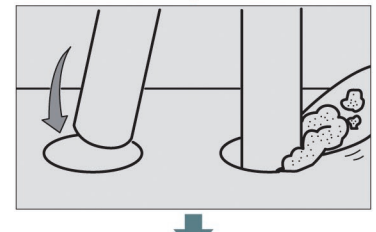


埋め込み式、ベーシックの場合

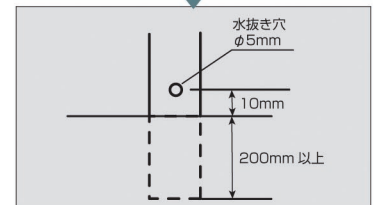
ホルソーを用いて支柱を埋め込む位置に穴をあけてください。(φ70mm)
※埋め込み寸法は200mm以上必要です。



支柱をモルタルで固定してください。

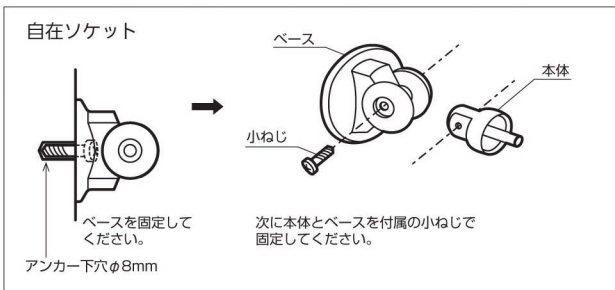
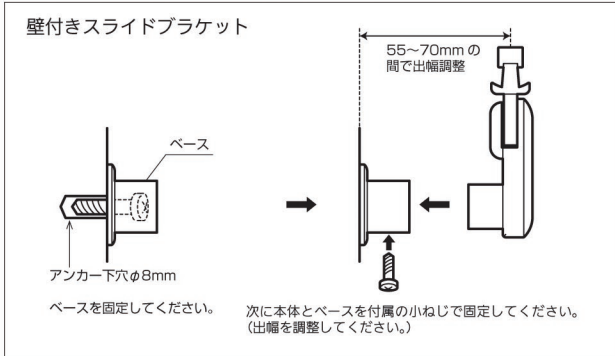
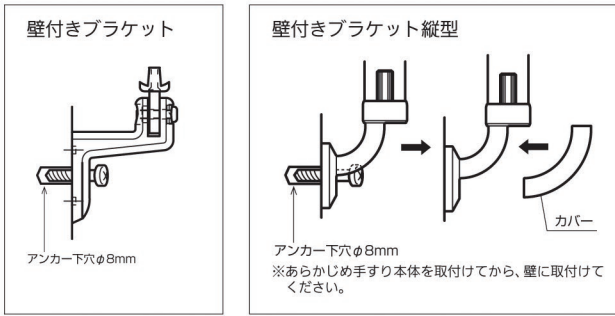


支柱を切断した場合は、必ず右図のように水抜き穴をあけてください。



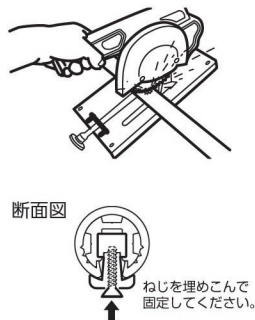
※フリーRレール・セイフティプラス等、他シリーズと部材を組み合わせて使用することはできません。

3 壁付きブラケットの取付け



4 手すりの切断・取付け

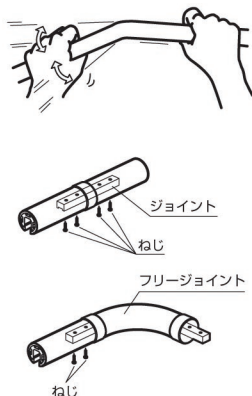
設置長さにあわせ手すり本体を切断し、支柱および受金具に取付けてください。



5 接続部材の取付け

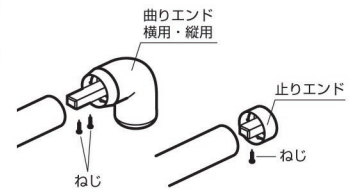
曲り手すり(端部用を除く)は設置場所にあわせて角度の微調整を行ってください。調整後、手すり本体へ接続する場合はジョイントを使用します。

フリージョイントを用いる場合は、別途ジョイントを用意する必要があります。



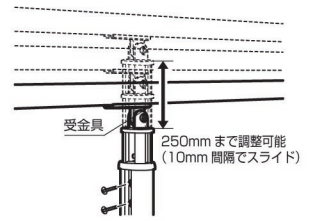
6 端末部材の取付け

付属のねじを使って本体に取付けてください。
※一番奥まで十分に差し込んでから固定してください。



7 支柱の高さ調整

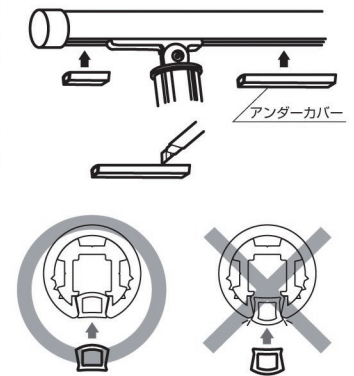
支柱をスライドさせて高さを調整してください。
※ベーシックタイプの支柱は、高さ調整ができません。



8 アンダーカバーの取付け

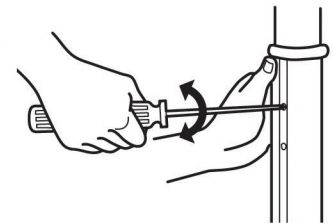
手すりに同梱されているアンダーカバーをカッター等で必要な長さに切り、手すり本体の下開口部に押しこんでください。

※アンダーカバーの上下方向に注意してください。(右図参照)



9 確認・検査

各ねじを本締めしてください。取付けが終了したら、ガタツキ等がないか確認してください。



⚠ 施工上のご注意

- 壁付きブラケット、支柱の最大ピッチは900mm以下としてください。これよりピッチが広がると手すりが曲がったり、ねじのゆるみの原因となります。
- 壁付きブラケットおよびベースプレート式支柱の取付けは、下地を十分に確認した上で適切なアンカーボルトを使用してください。
- 壁付きブラケットやベースプレート式支柱の下穴径などは必ず指定の寸法を守ってください。
- 手すり端部の跳ね出し長さは180mm以下にしてください。これよりピッチが広がると手すりが曲がったり、ねじのゆるみの原因となります。
- ジョイント部分より100mm以内の所に必ず壁付きブラケットもしくは支柱を取付けてください。
- フリージョイント使用の場合は、両側の100mm以内の所に必ず壁付きブラケットもしくは支柱を取付けてください。
- 支柱(埋込み式)の埋込み寸法は必ず200mm以上としてください。(G.L表示がしてあります)
- 曲り手すりは必ず壁付きブラケットもしくは支柱に取付けてください。
- アルミ製品は施工時の取扱いで腐食をおこす恐れがありますのでご注意ください。
- 本品を改造したりしないでください。
- アプローチレールは歩行補助手すりであり転落防止用ではありませんので、柵等の用途で使用しないでください。
- 施工・使用前に必ず添付の「施工要領書」をよく読んでください。
- 本品を手すり以外の用途で使用しないでください。
- 取付け工事は必ず専門業者様が行ってください。
- 施工完了後は「施工要領書」を必ずお客様に、使用方法をご説明の上お渡しください。

※フリーRレール・セイフティプラス等、他シリーズと部材を組み合わせて使用することはできません。